

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		男女共同参画推進啓発誌発行事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんなが元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	総務課	担当者名	岡本貴子
	基本事業	74	男女共同参画社会に対する理解の促進			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果		
	1	2	1	15	10908		男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例	コスト削減優先度評価結果	2
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	
								11	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	懇話会の啓発資料部会の中で、内容を検討し、事務局で作成する。 ・旧西合志町時代に、男女共同参画啓発情報誌「じりつ」を発行していた。その啓発手法を取り入れ、合志市として合併した後も「いっぽ」として全世帯に配布し啓発の一環としている。
【業務の流れ】	①事務局で内容検討、②印刷会社選定、③入札、④印刷会社決定、⑤原稿渡し、⑥校正、⑦印刷、⑧発行、⑨配布
【主な予算費目】	印刷整備費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・議会より内容について、未だに根強い男女差別(男女の賃金格差等)があるので、それに関する記事の掲載も必要との意見がある。 ・自治体独自の啓発資料配布は、啓発手法として重要である。 ・イベントは参加者が限られているが、全世帯配布の資料は、男女共同参画推進に大きく寄与する。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・懇話会で内容を検討し、男女共同参画推進啓発情報誌「いっぽ」を18,800枚作成した。区長便にて各世帯に配布した。	平成21年度と同様
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア発行部数	部 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・市民	⇒ア人口 人
	⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・啓発資料を読むことで、男女共同参画の重要性を認識できる。	⇒ア質問・問い合わせがあった件数 件
	⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 市民が啓発資料を読み、男女共同参画を理解することが目的である。内容を読み、問い合わせがなかったことで理解されたと確認できる。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 部		37000	18500	18800	18800	19000	19000	19000
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人		53909	54518	55124		55124	55732	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	439	181	181	104	181	181
	(A) 事業費計	千円	439	181	181	104	181	181	181
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	13	4	4
延べ業務時間		時間	400	162	248	152	248	248	248
(B)人件費計		千円	1,588	648	987	605	987	987	987
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,027	829	1,168	709	1,168	1,168	1,168

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

合志市

事務事業名	男女共同参画推進啓発誌発行事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	フェスティバルでも啓発誌を資料として配布しており、啓発活動の充実を図った。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	市民の理解を深めるため、内容の検討を懇話会で行い、紙面の工夫を行う。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	内容をより充実させることを目的に懇話会で議論を深め、向上させる余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	啓発情報誌発行という手法には、他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	ページ数、紙質、色の限定(フルカラー、2色刷り)等で削減余地はある。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	職員以外では出来ない業務なので、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	全世帯配布なので、公平・公正になっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	市の責務として啓発活動を行わなければならないため適正である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

イベントによる啓発活動は参加者が限られるが、区長便で配布する啓発誌の発行は、各世帯に配布するので男女共同参画の推進に大きく寄与するものである。市民に読んでもらい、関心を持ってもらうような工夫を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

紙質を低下させれば金額を落とすことができる。